

2026年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

株式会社 **日本トリム**
証券コード：6788(東証プライム)

2025年8月7日

過去最高

売上高

5,949百万円

(前年同期比 9.0%増)

経常利益

627百万円

(前年同期比 22.9%減)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

401百万円

(前年同期比 29.4%減)

売上高 四半期として過去最高を更新

整水器販売事業

- ①直接販売部門は売上高2,147百万円、前年同期比7.8%増。
職域販売ではスポーツ・美容分野に注力し、セミナー回数が増加。
2025年6月は受注台数で過去最高を更新。
- ②間接販売部門は売上高218百万円、前年同期比29.1%減。
既存代理店の出荷が鈍化し、前年同期比減。
既に販売支援強化に取り組み、2Q以降回復していく見込み。
- ③浄水カートリッジは売上高1,452百万円、前年同期比2.5%増。
顧客フォロー強化により高い購買率を維持。
安定した収益基盤を確保。

ボトルドウォーター事業

シェア拡大に向け広告・マーケティング施策をさらに強化。
売上高1,074百万円、前年同期比40.4%増と大幅躍進。

電解水透析事業

当期1施設への導入で売上高39百万円（前期は4百万円）。
35施設、1,093床に導入（2025年6月末現在）。

再生医療関連事業

ステムセル研究所が四半期過去最高売上を更新。
新プラン導入による成約率向上と単価上昇効果が寄与。

2026年3月期 第1四半期 連結業績サマリー

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2025年3月期 1Q実績		2026年3月期 1Q実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	5,459	100.0%	5,949	100.0%	+ 490	+ 9.0%
売上原価	1,636	30.0%	1,905	32.0%	+ 268	+ 16.4%
売上総利益	3,822	70.0%	4,044	68.0%	+ 222	+ 5.8%
販売費及び一般管理費	3,050	55.9%	3,468	58.3%	+ 418	+ 13.7%
営業利益	772	14.1%	576	9.7%	△195	△25.4%
経常利益	814	14.9%	627	10.5%	△186	△22.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	568	10.4%	401	6.7%	△167	△29.4%
一株当たり四半期純利益(円)	74.18	—	52.40	—	△21.77	△29.4%

売上総利益率の低下要因

- ①事業構成比率の変化
ボトルドウォーター事業拡大により
全体の利益率が低下
- ②原価の上昇

販売費及び一般管理費の増加

- ①業容拡大のための人的投資強化
グループ全体で前年同期比+71名
- ②ボトルドウォーター事業のシェア
拡大に向けたTVCM、SNS広告、
プロモーション活動強化

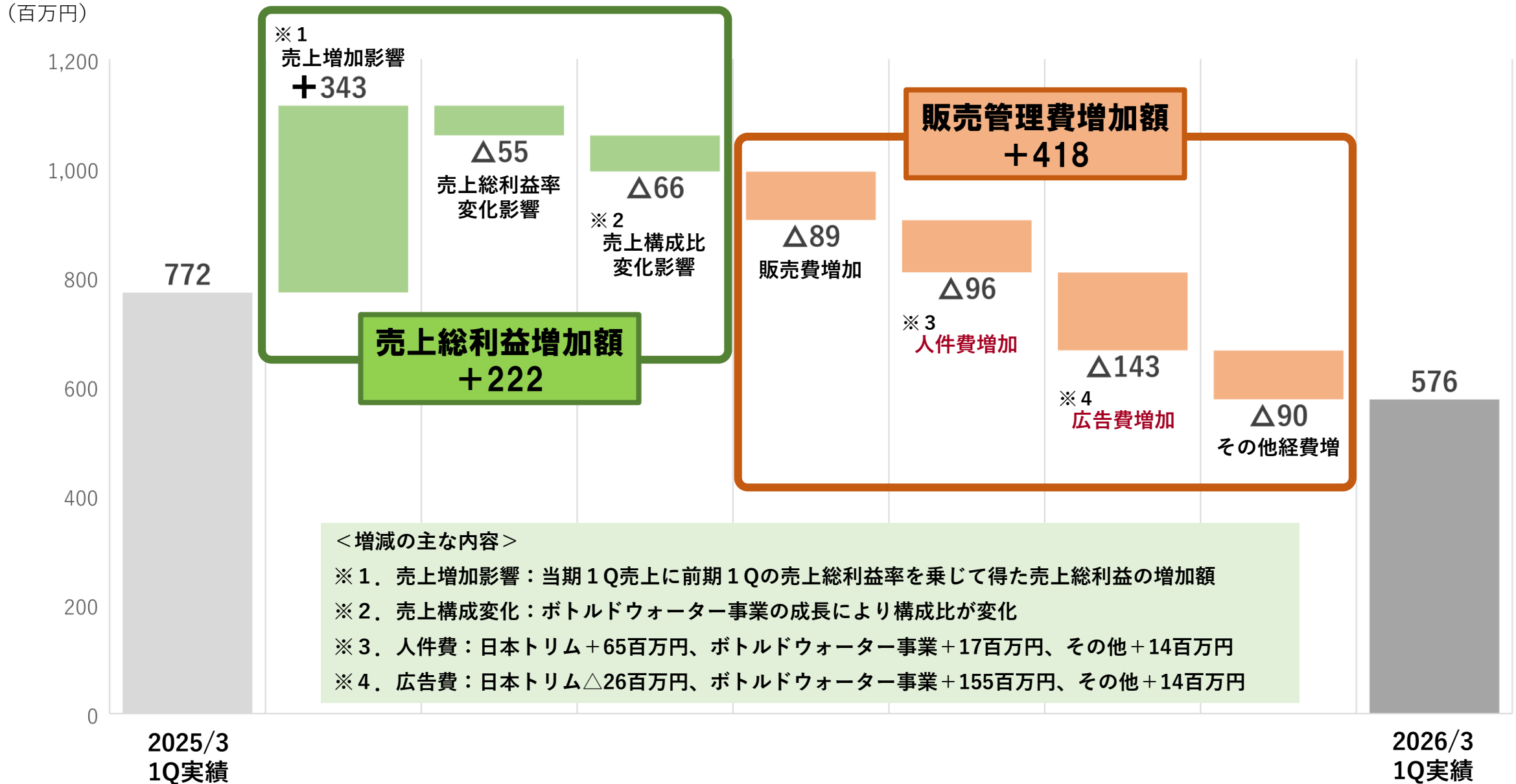
特別損益項目

- ①前期1Qは投資有価証券売却益
149百万円が発生

2026年3月期 第1四半期 セグメント別売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨)		2025年3月期 1Q実績		2026年3月期 1Q実績		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
ウォーターヘルスケア	(フロービジネス)						
	DS事業部（職域販売）	1,170	21.4%	1,349	22.7%	+ 178	+ 15.3%
	HS事業部（取付・紹介販売）	370	6.8%	345	5.8%	△25	△6.9%
	SS事業部（店頭催事販売）	139	2.6%	140	2.4%	+ 0	+ 0.5%
	MS事業部（卸・OEM）	308	5.7%	218	3.7%	△89	△29.1%
	メンテナンス部門	84	1.5%	85	1.4%	+ 1	+ 1.7%
	リプレイス部門	99	1.8%	118	2.0%	+ 19	+ 19.4%
	WEB販売	127	2.3%	108	1.8%	△18	△14.8%
	整水器合計	2,300	42.1%	2,366	39.8%	+ 66	+ 2.9%
	(ストックビジネス)						
	カートリッジ	1,417	26.0%	1,452	24.4%	+ 35	+ 2.5%
	(子会社売上)						
	広州多寧健康科技有限公司	26	0.5%	12	0.2%	△14	△54.5%
	PT. SUPER WAHANA TEHNO	765	14.0%	1,074	18.1%	+ 308	+ 40.4%
	(その他)	255	4.7%	291	4.9%	+ 35	+ 13.9%
	小計	4,765	87.3%	5,196	87.3%	+ 431	+ 9.1%
医療関連	再生医療関連事業	689	12.6%	713	12.0%	+ 23	+ 3.5%
	電解水透析事業	4	0.1%	39	0.7%	+ 34	+ 763.0%
	小計	694	12.7%	753	12.7%	+ 58	+ 8.5%
連結合計		5,459	100.0%	5,949	100.0%	+ 490	+ 9.0%

2026年3月期 第1四半期 営業利益の増減内容



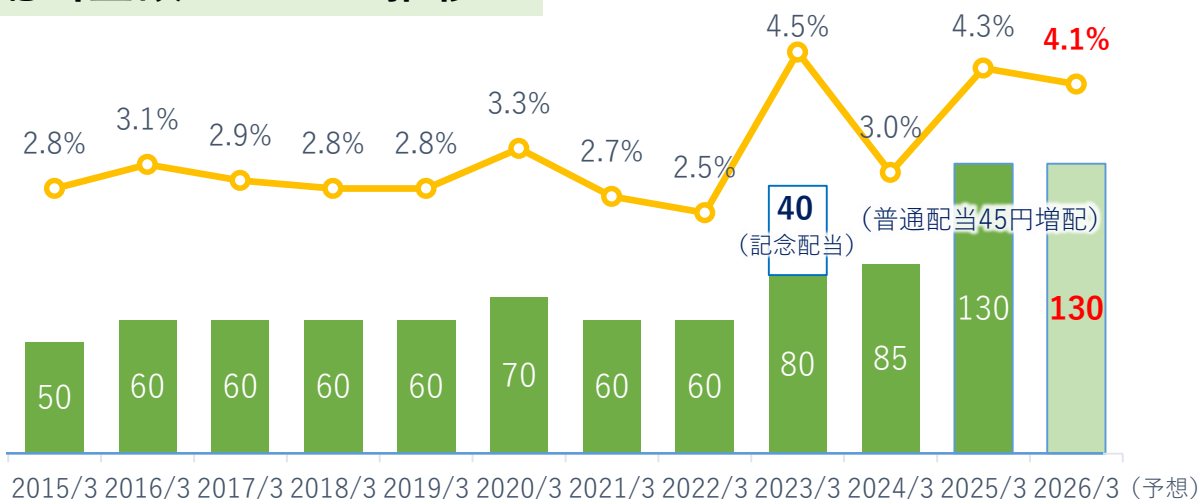
具体的数値目標

1 資本効率性の向上 目標指標：ROE 10%以上

2 株主還元の強化 基準：DOE 4%

※ ROE（自己資本利益率） ※ DOE（株主資本配当率）= ROE × 配当性向

配当金額・DOEの推移



2026年3月期
期末配当予想 **130円**

DOE **4.1%** 配当性向 **42.7%**

株主優待制度

電解水素水整水器 40%オフ
浄水カートリッジ 30%オフ

ROEの推移

2025年3月期
(実績)
9.7%

2026年3月期
(予想)
9.6%

資本政策の基本方針

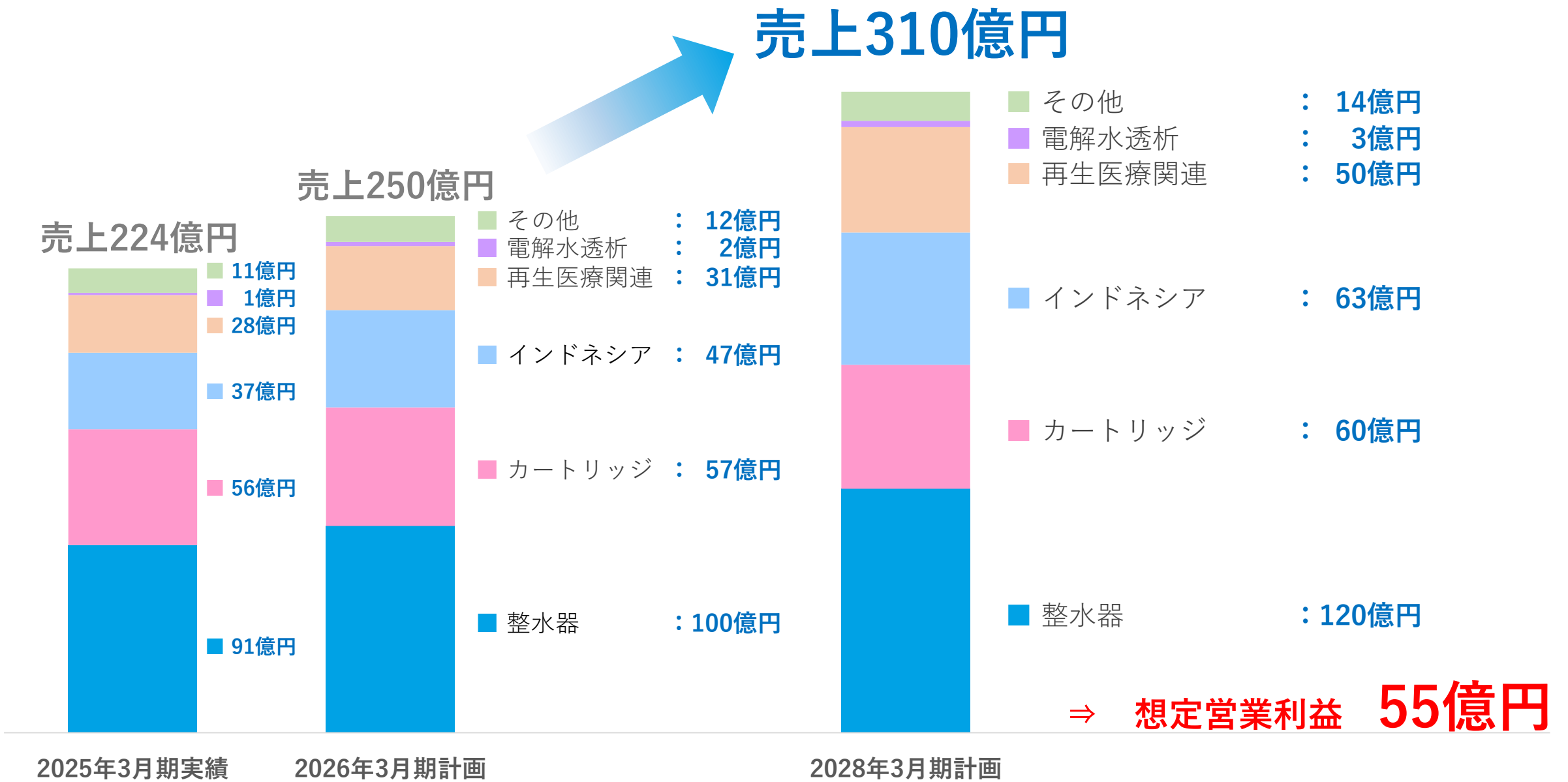
「資本効率性」「株主還元」「財務健全性」をバランスよく実現し、株主価値の持続的向上を目指す。

現状認識と今後の対応

- 1 資本コスト 概ね7.5%程度と認識 ▶ 2025年3月期のROEは9.7% ▶ 2026年3月期 9.6%予想
- 2 P B R 2025年3月期末 1.23倍

- ①2025年3月期のROEは9.7%、過去3年の実績平均は9.2%と、安定して資本コストを上回る水準。
- ②PBRは1倍を超える水準であるも、現状株価は割安であると認識。
- ③更なる企業価値向上に向け、新たに策定した中期目標の達成と、M&Aによる新規事業への投資や、市場評価の改善に向けたIR活動の強化、更なる株主還元策の実施に取り組む。

中期経営計画 業績目標（2026年3月期～2028年3月期）



本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。